

緊急のお知らせ 【管制方式基準改正のポイント】

ICAO PANS-ATM の改正に伴って、管制方式基準の一部が2016年11月10日付で改正されました。主な改正点は、SID/STAR の経路上における上昇/降下の指示と、公示された速度に従う旨の指示の3つの管制用語が新しく設けられたことです。

★CLIMB VIA SID TO [altitude]

SID又はトランジションの**制限に従い** (高度) まで上昇してください

★DESCEND VIA STAR TO [altitude]

STARの**制限に従い** (高度) まで降下してください

★RESUME PUBLISHED SPEED

公示された**速度に従って**ください

従来の高度制限に関する管制方式の要点は「経路の変更時」と「高度の変更時」と「レーダー誘導の終了時」の3つの節目において、「有効な高度制限について(すべての制限が有効である場合は“Comply with restrictions”の用語で)指示し直し、高度制限に言及されなかった場合はすべての高度制限が無効」という方式でした。

長年にわたって、高度制限は上記の節目において「**再度指示されなければ無効**」という考え方が広く定着していましたが、この考え方に対してPANS-ATMでは「**明確に取り消されない限り有効**」という考え方を打ち出しています。

ちなみにPANS-ATMでは当然「明確に取り消す」用語も制定されていますが、日本ではこれを従来からの用語と方式によって行うことにしたために、やや複雑な運用になってしまいました。

さまざまな運用のケースで、規定そのものの解釈がまちまちですと混乱が生じかねませんので、航空局管制課では改正された規定の適用条件について、次のように見解を示しています。

1. 今回の改正による規定で定められる“Climb via SID to [altitude]”と“Descend via STAR to [altitude]”の用語が使用される条件となる「公示された高度制限」とは「上昇/降下を指示する範囲のSID/トランジションまたはSTARに含まれるいずれの高度制限も、公示された制限から変更/取消し/追加されていない **オリジナルどおりの制限**」であり、この条件を満たす場合に限り新しい用語が使用される。

2. SID/トランジションまたはSTARの一部を上昇/降下させる場合、飛行させる範囲内の高度制限が公示された制限どおりであれば、Climb via SID や Descend via STAR の用語が使用される。

3. STAR の開始点より手前のフィックスに高度制限が指示されていた場合で、当該地点を通過する以前に降下指示を発出する場合も Descend via STAR の用語が使用される。この場合はSTARの開始点より手前の高度制限については“Comply with restrictions”の用語は使用されず、Descend via STARに続けて“Cross [fix] [restriction]”の用語が使われる。

実際の運用においては、SID/STARの範囲外のフィックスに管制官が付けた高度制限があるケースや、SID/STARに公示されている高度制限の一部を管制官が取り消したり変更するケースなど、複雑な組み合わせによる運用も考えられます。そのため、今回の改正による新しい用語CLIMB VIA SIDとDESCEND VIA STARを適用する条件に合致していない場合は、従来からの上昇/降下を指示する用語

CLIMB AND MAINTAIN [altitude] と

DESCEND AND MAINTAIN [altitude]

が従来どおりの方式に従って使われることになっています。

つまり・・・CLIMB VIA SID TO [altitude] と CLIMB AND MAINTAIN [altitude]、あるいは DESCEND VIA STAR TO [altitude] と DESCEND AND MAINTAIN [altitude] が混用されるわけですから、聞き間違えないように注意する必要があります。

速度調整が終了される時には、“RESUME NORMAL SPEED”の用語が使用されてきました。今回の改正で、承認されたSID/トランジション/STARまたは計器進入方式に特定の速度が公示されている場合で、当該速度が公示されているフィックスより手前で速度調整が終了される場合には“RESUME PUBLISHED SPEED”の用語が使用されます。その場合は、その時点で速度調整は終了し、先方の「速度が公示された地点」を公示速度で通過しなければなりません。

この「ATC再発見 *Radio Telephony Meeting*」は、JAPA ATS 委員会と ATCA 技術委員会が参加している R/T Meeting で討議されたテーマを共有して、「安全で効率の良い運航と航空管制」のために発行しています。